

令和4年度

事業報告書

令和4年度 事業報告

令和4年度は、「地域共生社会」の実現に向けた行動計画としての性格を有する地域福祉活動計画（第6次）が2年目を迎え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための工夫をしつつ、重点事業に位置付けた「福祉まるごと相談体制による相談・支援の実施」、「地域支え合い活動の推進」、「権利擁護の推進」、「多様なボランティア活動の推進」を中心に、各種事業に取り組みました。

「福祉まるごと相談体制による相談・支援の実施」については、相談内容に応じて係を横断した連携を取り合い、職員が相談者のもとに出向き、つながり続ける伴走型支援を実施しました。また、毎月1回全係による情報共有を行うとともに、個別支援を地域支援につなげるため、全職員対象の研修を行うなど、体制の充実に努めました。

「地域支え合い活動の推進」については、地域福祉活動の推進母体である15地区の地区地域福祉推進委員会に対する支援を継続しながら、地域福祉コーディネーターとして個別支援・地域支援に取り組み、また、生活支援コーディネーターとして市行政や地域包括支援センター、市民の方々と連携を図り、地域の中で住民同士が互いに助け合い、支え合うことのできる仕組みづくりや居場所づくり等の推進に努めました。

「権利擁護の推進」については、厚木市が策定した厚木市成年後見制度利用促進基本計画に基づき、厚木市権利擁護支援センター事業として、成年後見制度の広報啓発や相談体制の充実に努め、制度の利用が必要な人に支援がつながるよう関係機関や専門職との連携を図り、本人を中心としたチーム支援に取り組みました。さらに、本人に寄り添い、地域に密着した活動を行うことが期待されている市民後見人の登録者に対し、待機期間に日常生活自立支援事業の生活支援員として活動を行えるよう、環境を整えました。

日常生活自立支援事業では、判断能力が十分でない高齢者や障がい者が地域で安心して暮らし続けることができるよう、福祉サービスの利用手続きの支援や金銭管理等の支援を行い、必要に応じて成年後見制度への移行を実施し、本会法人での後見人等の受任等、包括的な権利擁護の推進に取り組みました。

「多様なボランティア活動の推進」については、地域福祉の一翼を担うボランティア活動の活性化のため、ボランティア情報の提供に努めました。また、県との共催によりパートナーシップミーティングを開催し、新たなつながりのきっかけの場を創出しました。さらに災害救援ボランティア支援センターの運営については、運営スタッフ養成講座や運営スタッフ向け研修を開催し、災害ボランティア支援体制の強化を図りました。

これら重点事業のほか各種事業については、行政や福祉関係機関等との連携・調整を図りながら効果的かつ効率的な事業の実施に努めたほか、賛助会員への加入促進のため、フェイスブックによる情報の発信など、本会事業への理解を深めていただく取組を行いました。

重点事業及び各種事業の実施状況については、次のとおりです。

1 法人事業

(1)法人運営事業【162,589,044円】

ア 法人運営に係る会議等の開催

(ア) 理事会

1	開催日	令和4年5月31日（火）
	場所	厚木市保健福祉センター
	出席者	理事10人、監事2人
	審議事項等	(1)議案第1号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 職員の定年等の規程等の一部を改正する規程について (2)議案第2号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 職員の育児・介護休業等規程の一部を改正する規程について (3)議案第3号 令和3年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 事業報告について (4)議案第4号 令和3年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 決算について (5)議案第5号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 評議員の選任候補者の推薦について (6)議案第6号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 評議員選任・解任委員会の招集について (7)議案第7号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 評議員会の招集について (8)報告事項1 職務執行状況報告について
2	開催日	令和5年1月27日（金）
	場所	厚木市保健福祉センター
	出席者	理事8人、監事2人
	審議事項等	(1)報告第1号 専決処分の報告について (令和4年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 資金収支補正予算(第1号)について) (2)議案第8号 令和4年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 資金収支補正予算(第2号)について (3)議案第9号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 正規職員の給与規程の一部を改正する規程について (4)議案第10号 緊急援護資金貸付金の償還免除及び債権の放棄について (5)議案第11号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 理事の候補者について (6)議案第12号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 評議員会の招集について (7)報告事項1 地域福祉活動計画(第6次)の実施状況について (8)報告事項2 職務執行状況報告について

3	開催日	令和5年3月17日(金)
	場所	厚木市保健福祉センター
	出席者	理事9人、監事2人
	審議事項等	(1)議案第13号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 副会長の選定について (2)議案第14号 役員等賠償責任保険の契約について (3)議案第15号 令和5年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 事業計画について (4)議案第16号 令和5年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 資金収支予算について (5)議案第17号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 評議員会の招集について

(イ) 評議員会

1	開催日	令和4年6月21日(火)
	場所	厚木市保健福祉センター
	出席者	評議員16人、監事2人
	審議事項等	(1)議案第1号 令和3年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 事業報告について (2)議案第2号 令和3年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 決算について
2	開催日	令和5年2月10日(金)
	場所	厚木市保健福祉センター
	出席者	評議員18名
	審議事項等	(1)報告第1号 専決処分の報告について (令和4年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 資金収支補正予算(第1号)について) (2)議案第3号 令和4年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 資金収支補正予算(第2号)について (3)議案第4号 緊急援護資金貸付金の償還免除及び債権の放棄につ いて (4)議案第5号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 理事の選任について (5)議案第6号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 理事の選任について (6)報告事項1 地域福祉活動計画(第6次)の実施状況について
3	開催日	令和5年3月29日(水)
	場所	厚木市保健福祉センター
	出席者	評議員14名
	審議事項等	(1)議案第7号 令和5年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 事業計画について (2)議案第8号 令和5年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 資金収支予算について

(ウ) 評議員選任・解任委員会

開催日	令和4年7月8日(金)
場所	厚木市保健福祉センター
出席者	委員3人
審議事項	(1)議案第1号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 評議員の選任について

(エ) 監査

開催日	令和4年5月18日(水)
場所	厚木市保健福祉センター
出席者	監事2人
監査事項	(1)理事の業務執行の状況について (2)法人の財産の状況について

(オ) 社会福祉法人指導監査

開催日	令和5年2月24日(金)
場所	厚木市保健福祉センター
出席者	厚木市福祉総務課 監査官4人
監査事項	(1)法人組織・運営の適正化について (2)資産管理の適正化について (3)会計処理の適正化について (4)事業運営の透明性について

イ 役員等研修会

県央都市社会福祉協議会連絡協議会が開催する役員研修会に参加しました。

開催日 令和5年1月16日(金)

場所 清川村生涯学習センターせせらぎ館

内容 講演

テーマ「成年後見制度利用促進基本計画を進めるにあたっての
ポイント」

講師 みなと横浜法律事務所 弁護士 内嶋順一氏

ウ 会員募集運動

一般会員会費と賛助会員会費を合わせた納入総額18,194,251円

(ア) 一般会員会費 600,000円

第1種会員から第7種会員の合計120団体の一般会員会費(@5,000円)

(イ) 賛助会員会費 17,594,251円

a 個人 自治会を通して各世帯に賛助会員会費の納入を依頼(@500円)

b 法人 ダイレクトメールにより各法人に賛助会員会費の納入を依頼(@1,000円)

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、加入募集期間を延長しました。

賛助会員会費の実績

(単位：円)

(単位：世帯、法人)

地区名	会 費		会費合計	会員数		会員合計
	世 帯	法 人		世帯数	法人数	
厚木北	898,540	465,741	1,364,281	5,277	109	5,386
厚木南	1,026,500	239,505	1,266,005	3,362	34	3,396
依知北	970,600	169,395	1,139,995	3,575	42	3,617
依知南	903,050	136,120	1,039,170	2,581	32	2,613
睦合北	619,550	98,131	717,681	2,010	17	2,027
睦合南	912,290	121,000	1,033,290	5,034	32	5,066
睦合西	560,850	113,890	674,740	2,783	21	2,804
荻野	1,755,384	101,000	1,856,384	5,323	23	5,346
小鮎	1,388,950	138,000	1,526,950	3,496	36	3,532
南毛利	2,666,299	196,125	2,862,424	9,241	52	9,293
南毛利南	954,000	110,890	1,064,890	2,673	24	2,697
玉川	451,000	75,000	526,000	934	16	950
森の里	554,470	3,000	557,470	1,956	1	1,957
相川	1,185,300	258,965	1,444,265	3,360	61	3,421
緑ヶ丘	512,706	8,000	520,706	1,570	3	1,573
合計	15,359,489	2,234,762	17,594,251	53,175	503	53,678

エ 事務局の管理運営等

(ア) 事務局の管理運営

文書の処理、人事管理、経理及び財産の管理等を行い、事務局の円滑な管理運営に努めました。

(イ) 月次巡回監査等の実施

「厚生労働省」社会福祉法人審査基準（第3の6の(1)）に基づく、専門家による財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援の趣旨に基づき、西迫会計事務所と社会福祉法人経理支援業務委託契約を締結し、月次巡回監査等を実施しました。

結果：財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援業務実施報告書（本書109ページ）のとおり

オ 職員研修・人材育成

神奈川県社会福祉協議会や福祉関係機関等による研修を受講したほか、内部研修や全職員を対象としたスーパービジョンの実施により、職員の資質向上及び共通理解を図りました。

さらに、社会福祉士相談援助実習を受入れ、職員の資質向上を図るとともに次世代の社会福祉専門職の養成に取り組みました。

(ア) 外部研修

- 5月 新任職員研修、成年後見制度利用促進市町村セミナー
- 6月 生活支援コーディネーター研修、日常生活自立支援事業初任者研修、神奈川県指定障害福祉サービス事業者等に対する指導講習会、法人後見担当者基礎研修、生活福祉資金貸付新任担当者相談員研修
- 7月 日常生活自立支援事業動画研修、中核機関・市町村成年後見担当職員研修会、法人後見担当者基礎研修
- 8月 キャリアパス構築・運用研修
- 9月 社協コミュニティソーシャルワーク研修、地域連動型支援プログラム開発研究会、包括的な支援体制及び重層的支援体制構築支援事業全体連絡会・課題別研修会
- 10月 スーパーバイザー研修、社会福祉士実習指導者講習会、社協コミュニティソーシャルワーク研修、OJT研修、多機関協働による相談支援強化事業研修、生活福祉資金(教育支援資金)研修
- 11月 スーパーバイザー研修、リーダーシップ研修、厚労省成年後見制度利用促進体制整備研修、多機関協働による相談支援強化事業研修
- 12月 スーパーバイザー研修、「ファシリテーション」研修、県社協職員会研修会、成年後見制度利用促進体制整備研修、実習指導者フォローアップ研修、成年後見制度利用促進体制整備研修都道府県担当職員・アドバイザー向け研修
- 1月 スーパーバイザー研修、法人担当者現任研修、多機関協働による相談支援強化事業研修
- 2月 成年後見制度利用促進プレ研修、社協コミュニティソーシャルワーク研修、県社協職員会研修会、
- 3月 日常生活自立支援事業管理監督者研修・現任者研修、包括的支援・重層的支援体制支援事業全体研修会・課題別研修会、社協コミュニティソーシャルワーク研修、意思決定支援研修、福祉有償運送制度に関する研修会、成年後見制度利用促進・地域連携ネットワークフォーラム

(イ) 内部研修

- 6月 情報公開制度と個人情報保護制度について
- 8月 決算書の読み方
- 10月 グループワーク
- 1月 福祉まるごと相談事例検討グループワーク

(ウ) 社会福祉士実習の受入

日程 8月1日～9月8日のうち24日間及び災害ボランティアセンター設置運営訓練

人数 1人 (日本福祉大学福祉経営学部通信制 4年生)

カ 県央都市社会福祉協議会連絡協議会

県央都市社協連絡協議会へ参加し、情報交換、調査研究を行いました。

(ア) 幹事会

開催日 令和4年6月23日付 ※書面開催
内 容 令和4年度定期総会の日程調整について

(イ) 総 会

開催日 令和4年7月25日（月）
場 所 清川村生涯学習センターせせらぎ館
内 容 ・令和3年度事業報告及び決算について
・令和3年度監事監査報告
・令和4年度役員選任について
・令和4年度事業計画(案)及び予算(案)について
・神奈川県社会福祉協議会より情報提供と情報共有

(ウ) 幹部職員会・会長会・幹事会合同会議

開催日 令和5年3月13日付（月）※書面開催
内 容 ・令和4年度事業報告について
・令和5年度事業の方向性（案）について
・県央都市社協連絡協議会役員の輪番について
・市町村社協部会（県社協主管）役員選出について

(エ) 課題別職員情報交換会

第1回 開催日 令和4年11月10日（木）
場 所 清川村生涯学習センターせせらぎ館
テーマ 「社協をPRするための効果的な広報活動」
第2回 開催日 令和5年2月9日（木）
場 所 綾瀬市オーエンス文化会館
内 容 ICTを活用した災害ボランティアセンター共同訓練

(オ) 役員対象研究会【再掲】

開催日 令和5年1月16日（金）
場 所 清川村生涯学習センターせせらぎ館
内 容 講演
テーマ「成年後見制度利用促進基本計画を進めるにあたってのポイント」
講師 みなと横浜法律事務所 弁護士 内嶋順一 氏

キ 社協あつぎの発行

(ア) 「社協あつぎ」第166号から第169号まで、それぞれ6月、9月、12月、3月の各15日に、4回発行しました。（自治会を通じて配布）

(イ) 広報委員会の開催

社協あつぎ	開催日	場所
第166号	令和4年 5月13日(金)	厚木市保健福祉センター
第167号	令和4年 8月17日(水)	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため書面協議
第168号	令和4年11月16日(水)	厚木市保健福祉センター
第169号	令和5年 2月17日(金)	厚木市保健福祉センター

ク 厚木市社会福祉大会

第53回厚木市社会福祉大会 (厚木市と共催)

開催日	令和4年12月10日(土)
場所	厚木商工会議所
被表彰者等	表彰 71の個人・団体 感謝状贈呈 8の個人・団体
参加者	95人

ケ 啓発宣伝・情報配信事業

本会ホームページ及びフェイスブックにより、本会の事業及び地区地域福祉推進委員会のイベント等の情報発信に努め、また福祉情報の提供を行いました。

さらに、職員が地域等に出向き、本会事業について話をする「出前講座」を実施しました。

(ア) フェイスブックへの投稿

140回 (フォロワー数29増、「いいね」数52増)

(イ) 出前講座

7回実施 内容：権利擁護、成年後見、終活について 5回
災害ボランティアセンターについて 2回

対象：地域包括支援センター職員、居宅介護支援事業所職員、障がい者相談支援センター職員、地区住民、ボランティア団体、厚木市ボランティア連絡協議会

コ ふれあい基金

寄付採納件数・金額 2件 総額 400,000円

サ 善意銀行

(ア) 一般寄付

a 寄付採納件数・金額 54件 総額 1,976,184円

b 物品寄付 20件

内容 使用済み切手、食品・タオル等

(イ) 指定寄付

a 寄付採納件数・金額 1件 総額 142,239円

- 使途の指定 交通遺児支援
 b 物品寄付 1 件
 内容 もいちどペーパー（トイレットペーパー）10,000ロール
 使途の指定 市内障がい者施設及び障がい者福祉事業所のために

(2)住民福祉活動推進事業【34,227,739円】

ア 地区地域福祉推進委員会事業費の交付

15地区の地区地域福祉推進委員会の運営や活動を支援するため、
 総額30,199,000円を交付

交付金財源 賛助会員会費 7,099,000円
 厚木市交付金 23,100,000円

イ 地区地域福祉推進委員会活動への助成

助成金名	助成地区数	助成金額
広報活動助成金	15 地区	230,000円
子育て支援事業助成金	15 地区	470,000円
高齢者ミニデイサービス事業等助成金	15 地区	1,500,000円
きずな交流事業助成金	14 地区	540,000円
見守り・支え合い活動助成事業	2 地区	100,000円
高齢者健康体操教室助成事業	7 地区	95,000円
合 計		2,935,000円

ウ 住民福祉活動推進事業

小地域ふれあい活動助成金（地域住民が行う自主的な活動の支援）
 9団体 45,000円（@5,000×9）

エ 地域福祉コーディネーター活動事業

地区地域福祉推進委員会の活動支援とともに、地域の高齢者世帯、障がい者世帯等の個別課題の発見や解決等を図るため、地域の特性に応じた支援や社会資源、地域資源の活用などをコーディネートする地域福祉コーディネーターを配置し、地域福祉の推進に努めました。

- (ア) 相談・問合せ件数 1,315件
 (イ) 会議、打合せ（ケア会議等）へ参画 693件
 (ウ) 地域福祉活動、研修等へ参加 174件
 (エ) 地域福祉コーディネーター情報交換会を開催（隔月に1回） 6回

オ 地域福祉推進委員会連絡会議の開催

地域福祉推進委員会相互の協議と意見の場等として、地域福祉推進委員会連絡会議を開催しました。

開催日	令和5年2月27日（火）
場 所	アミューあつぎ
参加者	地区地域福祉推進委員会委員長 15人
内 容	(1)地域福祉推進委員会連絡会議設置要綱の一部改正について (2)地域福祉推進委員会事業費等交付要綱の一部改正について (3)地域ボランティア養成講座の案内について

(3)福祉活動推進事業【2,933,627円】

ア 同行援護従業者養成研修事業

福祉人材育成のため、神奈川県指定を受け同行援護従業者養成研修を実施しました。

同行援護従業者養成研修 一般課程及び応用課程 修了者 13人

	開催日・場所	内 容
1	令和4年10月14日（金） 厚木市保健福祉センター	・開講式 オリエンテーション 〈一般課程〉視覚障害者(児)福祉サービス 〈一般課程〉同行援護の制度と従業者の業務 〈一般課程〉障害・疾病の理解① 〈応用課程〉障害・疾病の理解②
2	令和4年10月17日（月） 厚木市保健福祉センター	〈一般課程〉障害者(児)の心理① 〈応用課程〉障害者(児)の心理② 〈一般課程〉同行援護の基礎知識 〈一般課程〉情報支援と情報提供
3	令和4年10月21日（金） 厚木市保健福祉センター	〈一般課程〉代筆・代読の基礎知識 〈一般課程〉基本技能（演習）
4	令和4年10月24日（月） 厚木市保健福祉センター 地下道、イオン厚木店	〈応用課程〉場面別基本技能（演習） 〈応用課程〉場面別応用技能（演習） 〈一般課程〉応用技能（演習）
5	令和4年10月28日（金） 厚木市保健福祉センター 神奈川中央交通東（株）厚木営業所 小田急線本厚木駅、海老名駅 相鉄線海老名駅	〈一般課程〉応用技能（演習） 〈応用課程〉交通機関の利用（演習） 〈応用課程〉場面別応用技能（演習） ・閉講式 修了証明書授与

※講師 神奈川県視覚障害者福祉協会 鈴木孝幸 氏、福喜多恭子 氏
厚木市社協居宅介護事業所 小池美智代 氏

イ 福祉団体等助成事業

(ア) 福祉団体（8団体） 730,000円
(イ) 一般会員組織への助成（3団体） 690,000円

ウ 車いすの貸出事業

疾病やケガなどにより、一時的に車いすを必要とする方に貸出を行いました。
貸出件数 182件

エ 保育園児支援事業

市内保育施設における情操教育に関する教材等の整備に対する助成を行いました。
46施設 総額 929,052円

オ 福祉活動団体等の研修支援(マイクロバス運行)事業

運行件数 10件 (市内5件・市外5件)

カ 障害者週間啓発事業

「障害者週間」の紹介と、ともに生きるかながわ憲章の理念を広く社会に浸透させるため「リスペクトでつながろう」のロゴを印刷した啓発用チラシに、「障害者週間即売会」並びに本会に設置されている「厚木市権利擁護支援センターあゆさぽ」の紹介を掲載し、ポケットティッシュ1,000個に挟み込んで市民に配布しました。

(4)共同募金配分金事業【1,408,172円】

ア 男の料理教室

高齢者の健康維持と介護予防等を目的に、男性高齢者が正しい食生活のあり方を学ぶ場の提供として、アミューあつぎ6階クッキングスタジオを会場に男の料理教室を開催しました。

開催日	内容	参加者
令和4年 7月15日(金)	調理実習	6人
令和4年11月11日(金)	調理実習	8人
令和5年 2月10日(金)	調理実習	6人

※ 令和4年9月16日(金)については新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となりました。

イ 障害者地域活動支援センター助成事業

障害者地域活動支援センター事業所に対し、運営費として助成を行いました。
4施設 総額460,000円

ウ 高齢者福祉施設一日体験事業の実施

※ 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となりました。

エ 年末たすけあい事業

共同募金年末たすけあい配分金で、障害者就労継続支援B型事業所と障害者地域活動支援センターの年末事業等に助成を行いました。

障害者就労継続支援B型事業所 12事業所

障害者地域活動支援センター 5事業所

総額 850,000円

(5) ボランティアセンター活動事業 【6,831,285円】

ア ボランティアセンターの管理運営

(ア) ボランティア相談件数

(単位：件)

相談内容		対応内訳								件数
		情報提供、指導	情報周知	連絡調整	備品貸出	保険説明	講師派遣	募集資材掲出	その他	
活動相談	ボランティアの種類、方法	27	0	8	0	0	0	0	0	35
	団体の活動内容、参加方法	1	0	23	0	0	0	0	0	24
	実習、体験相談	5	1	4	0	0	0	0	0	10
	活動組織の立ち上げ支援	4	0	1	0	0	0	0	0	5
派遣相談	派遣相談	9	0	15	0	0	0	0	1	25
	掲出依頼	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保険相談	保険の種類、加入方法	0	0	1	0	11	0	0	1	13
活動指導	団体からの活動相談、指導	7	0	1	0	0	0	0	1	9
	個人からの活動相談、指導	1	0	2	0	0	0	0	0	3
その他	団体への活動依頼方法	1	0	1	0	0	0	0	0	2
	収集ボランティア(送付先等)	3	0	0	0	0	0	0	0	3
	各種助成金	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	備品貸出相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の問合せ	10	1	3	0	0	0	0	2	16
計		68	3	59	0	11	0	0	5	146

(イ) ポスター掲示

ポスター 15枚
チラシ・パンフレット 277冊

(ウ) ボランティア活動保険

加入手続き 166件
事故処理 5件

(エ) ボランティアセンター利用状況

部 屋 名	利用者数 (延べ人数)
研修室	10,204人
作業室	3,876人
点字作成室	680人
録音室	2,888人
対面朗読室	2,357人
合 計	20,005人

(オ) ボランティアセンター登録 (令和5年3月31日現在)

団体 74団体 4,102人
個人 31人

(カ) ボランティアセンター運営委員会の開催

開 催 日	令和4年6月29日 (水)
場 所	厚木市保健福祉センター
出 席 者	9人
協議事項	(1)令和3年度ボランティアセンター事業報告について (2)令和4年度ボランティアセンター事業計画について (3)その他

イ ボランティア講座の開催

(ア) 傾聴ボランティア養成講座

傾聴ボランティアの養成を図るため開催しました。

開 催 日	令和4年11月11日、18日、25日、12月2日、9日 すべて金曜日
場 所	厚木市保健福祉センター
講 師	特定非営利活動法人 P・L・A (パートナーシップアンドリスニングアソシエーション) 理事長 後庵正治 氏、小俣眞佐美 氏
参 加 者	13人

(イ) 傾聴フォローアップ研修

新型コロナウイルス流行下でもできる傾聴活動を考える一環として、電話等による傾聴をテーマに開催しました。

開 催 日	令和4年10月5日 (水)
場 所	厚木市保健福祉センター
講 師	特定非営利活動法人 P・L・A (パートナーシップアンドリスニングアソシエーション) 理事長 後庵正治 氏、小俣眞佐美 氏
参 加 者	12人

(ウ) 地域ボランティア養成講座

地区の福祉活動に携わる人材の発掘・養成と担い手の確保及び受講者のその後の継続的な地域活動を支援するため、地区地域福祉推進委員会と共催で地域ボランティア養成講座を開催しました。

1	共催地区	睦合南地区地域福祉推進委員会
	開催日	1日目：令和4年6月12日（日） 2日目：令和4年6月26日（日）
	場所	睦合南公民館
	講師	J O Yバルーン 代表 望月美幸氏 望月美代子氏
	参加者	18人
	内容	1日目：講師講演、バルーン制作（花、プードル、剣） 2日目：バルーン制作（アーチ）
2	共催地区	緑ヶ丘地区地域福祉推進委員会
	開催日	令和4年11月19日（土）
	場所	緑ヶ丘公民館
	講師	神奈川県指定特定非営利活動法人アドバイザーネットワーク神奈川 理事 根岸美穂氏
	参加者	14人
	内容	(1)ボランティア基本のき (2)緑ヶ丘地区地域福祉推進委員会 事業紹介

(エ) ボランティアスタートアップ講座

ボランティアに関心がある方や今後活動をしたいと考えている方を対象に、ボランティアの基本を学ぶことを目的としたボランティアスタートアップ講座を開催しました。

開催日	令和5年3月4日（土）
場所	厚木市保健福祉センター
講師	松蔭大学 経営文化学部 准教授 仲伯維氏
参加者	19人
内容	(1)ボランティアについて（講義） (2)グループワーク（クロスロード）

ウ 福祉教育推進事業

(ア) 小中学生用福祉教育推進事業

小中学校における福祉教育推進のため、体験学習の講師を派遣しました。

また、点字体験については、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため講師の派遣を原則中止し、希望する学校には物品貸出のみ行いました。

福祉教育実施学校数 26校（小学校20校、中学校6校）

講座名	延べ実施校数	実施回数	延べ受講児童・生徒数
手話体験	17校	18回	1,322人
点字体験	7校	7回	569人
誘導体験	11校	12回	701人
車いす体験	20校	21回	1,693人
高齢者擬似体験	11校	11回	928人
認知症サポート	5校	5回	347人
合 計		74回	5,560人

(イ) 高校生用福祉教育推進事業

見守り、見守られ、支え合い、一人一人が尊重される地域づくりの推進を図るために、市内高等学校に通う生徒を対象に物品の貸出を行いました。

福祉教育実施学校数 1校

講座名	延べ実施校数	実施回数	延べ受講生徒数
車いす	1校	1回	11人
合 計		1回	11人

(ウ) 市内企業・団体用福祉教育推進事業

見守り、見守られ、支え合い、一人一人が尊重される地域づくりの推進を図るために、市内企業・団体を対象に物品の貸出を行いました。

実施企業・団体数 6団体

講座名	延べ実施団体数	実施回数	延べ受講者数
高齢者擬似体験	6団体	8回	452人
合 計		8回	452人

エ ボランティア団体等への助成

(ア) ボランティア団体活動助成金

27団体 交付総額 488,700円

(イ) 障がい者支援団体助成金

4団体 交付総額 520,000円

オ ボランティア情報の提供

ホームページ及びボランティアセンター掲示板等で情報の提供を行いました。

カ 災害ボランティア支援体制の強化

(ア) 災害救援ボランティア支援センター運営スタッフ養成講座

災害救援ボランティア支援センターの運営に係るスタッフの養成を図るため開催しました。

開催日	令和4年11月9日(水)
場所	厚木市保健福祉センター
講師	災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ 事務局長 石田真実氏、事務局 谷本恵子氏
参加者	10人(登録4人)

(イ) 災害救援ボランティア支援センター運営スタッフ向けフォローアップ研修

災害救援ボランティア支援センターの運営に係るスタッフの識見向上を図り、新型コロナウイルス感染流行下での災害救援ボランティア支援センターの設置・運営について考えるため開催しました。

開催日	令和4年6月19日(日)
場所	厚木市保健福祉センター
講師	公社SL災害ボランティアネットワーク 常務理事 天寺純香氏、濱田政宏氏、山岡哲朗氏
参加者	32人(運営スタッフ7人)

(ウ) 災害救援ボランティア支援センター交流会

災害救援ボランティア支援センターの強化を図るとともに、運営スタッフ登録者同士の繋がり構築を目的として、災害救援ボランティア支援センター交流会を開催しました。

開催日	令和5年2月11日(土・祝)
場所	厚木市保健福祉センター
講師	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会 総務係長 加藤健司氏、秦玉衣氏
参加者	17人(運営スタッフ11人)

(エ) 厚木市との連携を図るため、災害救援ボランティア支援センターに関する打合せを実施しました。

開催日	令和4年6月22日(水)、7月20日(水)、10月28日(金)
場所	厚木市保健福祉センター、市役所第二庁舎
出席者	5人、10人、3人

(オ) 災害救援ボランティア支援センター設置運営訓練を厚木市、厚木青年会議所と連携して実施しました。

開催日	令和4年9月4日(日)
場所	厚木市保健福祉センター、中町大型バス発着場
参加者	60人

(カ) 協定書に基づく3者（青年会議所、厚木市、社協）情報交換会

厚木市災害救援ボランティア支援センター設置・運営マニュアルの改訂等について情報交換を行いました。

開催日	令和4年11月24日（木）
場所	アミューあつぎ
出席者	7人

キ ボランティア団体との共催による講座

(7) 夏休み親子手話教室

親子で楽しみながら手話を体験及び学習することを目的に開催しました。

開催日	令和4年7月27日（水）、28日（木）、29日（金）
場所	厚木市保健福祉センター
講師	厚木市手話サークルあゆの会
参加者	18人

(イ) 手話入門講座

聴覚障がい者に対する認識や理解を深めることを目的に開催しました。

開催日	令和5年2月3日、10日、17日、24日、3月3日 すべて金曜日
場所	厚木市保健福祉センター
講師	厚木市手話サークルあゆの会
参加者	18人

(ウ) 点訳講座

点訳技術の普及を通じて、視覚障がい者に対する認識・理解を深めることを目的に開催しました。

開催日	令和4年4月28日（木）（説明会） 5月12日から12月15日 すべて木曜日
場所	厚木市保健福祉センター
講師	厚木市点訳赤十字奉仕団
参加者	16人

(エ) パソコンサポートボランティア養成講座

目の不自由な方を対象に、パソコン操作をサポートするボランティアを養成することを目的に開催しました。

開催日	令和5年2月21日（火）、3月7日（火）
場所	厚木市保健福祉センター
講師	厚木障害者PCサポートクラブ
参加者	3人

ク 企業・NPO・大学等パートナーシップミーティングの開催

地域課題の解決に向け、企業・NPO・大学など多様な主体が出会い、連携のきっかけを作り出す場として、「SDGs×新たな出会いとつながり」をテーマに、神奈川県・座間市社協・綾瀬市社協との協働で開催しました。

開催日	令和5年1月18日（水）
場所	アミューあつぎ
講師	長野県立大学大学院 教授 ソーシャル・イノベーション創出センター長 秋葉芳江 氏
実践事例紹介者	【企業】 第一生命保険株式会社厚木支社 次席支社長 新田俊光 氏 【NPO】 特定非営利活動法人厚木つばきの会 つばき作業所 所長 横見慎太郎 氏 【大学】 神奈川工科大学 地域連携・貢献センター センター長 小川喜道 氏 【中間支援組織】 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 主事 小又倫実
参加者	37人

(6)資金貸付事業【13,996,609円】

ア 生活福祉資金貸付事業

低所得者世帯等の経済的自立及び安定した生活の促進を図るため生活福祉資金制度の申込受付を行いました。

資金の種類	申込件数	申込額
緊急小口資金	1件	100,000円
福祉資金	1件	103,000円
特例 緊急小口資金	286件	52,920,000円
特例 総合支援資金	255件	130,350,000円
教育支援資金	16件	14,412,000円
臨時特例つなぎ資金	1件	100,000円
合計	560件	197,985,000円

※ 生活福祉資金の貸付金については、原則、神奈川県社会福祉協議会から借受者の口座に振込まれます。

イ 緊急援護資金貸付事業

一時的に生活に困窮し、緊急に援護が必要と認められた世帯に対し、生活資金の貸付を行いました。

貸付金額	貸付件数	貸付額
10,000円未満	8件	55,000円
10,000円以上 20,000円未満	31件	407,000円
20,000円以上 30,000円未満	30件	708,000円
30,000円	60件	1,800,000円
合計	129件	2,970,000円

ウ 行旅人旅費貸付事業

行旅人援護のため、旅費の一部の貸付を行いました。

(7)在宅援護等事業【1,070,844円】

ア 移送サービス事業(ひばり号の運行)

高齢、障がいなどにより単独での移動が困難な方を対象に、有料で通院等の移送サービスを実施しました。

(単位：件)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用件数	58	76	71	64	68	65	53	62	68	46	53	80	764	
利用用途	通院	43	55	38	44	47	44	32	41	39	36	40	55	514
	通院外	15	21	33	20	21	21	21	29	10	13	25	250	
利用先	市内	48	64	63	52	54	54	44	53	59	38	42	68	639
	市外	10	12	8	12	14	11	9	9	9	8	11	12	125

イ あつぎしあわせライフサービス事業(有料在宅援護サービス)

高齢、障がい、疾病のほか、ひとり親家庭などにより、日常生活においてサポートを必要とする家庭に対し、市民の参加と協力により、有料で家事援助や介助などのホームヘルプサービスを提供しました。

(ア) 利用実績

(単位：人、件、時間)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
高齢者	利用者数	1	1	1	2	1	2	1	0	0	1	1	1	12
	件数	4	4	4	6	3	4	2	0	0	2	3	3	35
	時間数	8	8	8	11	6	7	4	0	0	4	6	6	68
合計	利用者数	1	1	1	2	1	2	1	0	0	1	1	1	12
	件数	4	4	4	6	3	4	2	0	0	2	3	3	35
	時間数	8	8	8	11	6	7	4	0	0	4	6	6	68

(イ) 利用会員登録者数 28人

(ロ) 協力会員(ヘルパー)登録者数 19人

ウ 災害見舞金の支給

災害罹災世帯に対して見舞金を支給しました。

区分	件数	支給額	備考
全焼	8件	200,000円	@30,000円×4、@20,000円×4
死亡	3件	90,000円	@30,000円×3
合計	11件	290,000円	

2 権利擁護支援センター

(1) 権利擁護支援事業 【23,835,531円】

ア 成年後見制度の利用促進

(ア) 成年後見制度の周知啓発

厚木市権利擁護支援センターあゆさぼのパンフレットを関係機関へ送付し、成年後見制度やあゆさぼの周知啓発を行いました。また、ノベルティを作成、配布し、更なる周知に努めました。

また、タウンニュース等への関連記事の掲載、本会ホームページやフェイスブックで随時情報発信を行いました。

(イ) 職員が地域に出向き、出前講座を実施しました。

開催日・場所	内容	参加者
令和4年 5月20日(金) オンライン開催	厚木市権利擁護支援センターあゆさぼ(中核機関)の役割と成年後見制度について ～事例とともに～	市内居宅介護支援事業所職員27人・南毛利地域包括支援センター職員5人
令和4年 7月21日(木) 依知地域包括支援センター	厚木市権利擁護支援センターあゆさぼ(中核機関)の役割と実践で役立つ活用法	依知地区の居宅介護支援事業所職員19人
令和4年12月16日(金) 南毛利公民館	厚木市権利擁護支援センターあゆさぼの役割と活用方法 ～終活ver.～ ※司法書士による地域出張説明会同時開催	南毛利地区住民32人
令和5年 1月18日(水) 依知障がい者相談支援センター いっぼ	厚木市権利擁護支援センターあゆさぼとの連携について	障がい者相談支援センター職員8人、障がい者基幹相談支援センター職員3人、厚木市福祉部障がい福祉課職員2人
令和5年 1月20日(金) アミューあつぎ	虐待と権利擁護	厚木地区の居宅介護支援事業所職員4人、厚木地域包括支援センター職員8人
令和5年 1月20日(金) 厚木南地域包括支援センター	厚木市権利擁護支援センターあゆさぼの役割とケアマネジャーとの連携	厚木南地区の居宅介護支援事業所職員9人、厚木南地域包括支援センター職員2人
令和5年 2月22日(水) アミューあつぎ	厚木市権利擁護支援センターあゆさぼの役割と連携について	市内地域包括支援センター職員20人、厚木市福祉部地域包括ケア推進課職員6人

※講師 あゆさぼ職員の他、司法書士・民事信託士 福住桂司氏、司法書士 辻本和弥氏

(ウ) 成年後見制度や関連する制度についての知識を深めるため、成年後見制度普及啓発講座を実施しました。

開催日・場所	内容	参加者
令和4年 6月24日(金) オンライン開催	ご本人らしい生き方に寄り添う	地域包括支援センター職員4人、居宅介護支援事業所職員16人、障がい者相談支援センター職員2人
令和4年 8月 2日(火) アミューあつぎ	知って得する講座 ～自分や家族を守る成年後見制度～	市内在住、在勤者14人
令和4年10月11日(火) 厚木市保健福祉センター	あなたの想いを伝える終活～任意後見制度&遺言書～	市内在住、在勤者21人
令和4年12月13日(火) アミューあつぎ	意思決定支援って何だろう～チームで支える本人の思い～	地域包括支援センター職員6人、居宅介護支援事業所職員12人、障がい者相談支援センター職員14人、病院職員6人、その他1人
令和5年 1月24日(火) あつぎ市民交流プラザ	知っていれば安心～最期に向けて今から準備できること～	市内在住、在勤者16人
令和5年 3月 7日(火) アミューあつぎ	事例を通して学ぶ～高齢者と成年後見制度～	地域包括支援センター職員3人、居宅介護支援事業所職員11人

※講師 司法書士 林真吾 氏、特定行政書士 千代川浩子 氏、司法書士 中野智子 氏、公証人 渋谷慎吾 氏、遺言書保管官 古谷ゆうこ 氏、大学教授 鈴木敏彦 氏、司法書士 古根村博和 氏、社会福祉士 那須三朗 氏

(エ) 市民及び様々なニーズの窓口となる福祉関係者、医療関係者等を対象とし、制度をより身近に感じられるように周知を図るため、成年後見制度地域連携講演会を開催しました。

開催日・場所	内容	参加者
令和4年11月11日(金) 厚木市文化会館	これから安心した生活を送るカギ～成年後見制度の活用～	市内在住、在勤者76人

※講師 弁護士 内嶋順一 氏

(オ) 本人を中心とした「チーム支援」の仕組みづくり
関係機関と連携し本人の状況に応じて福祉・医療・地域等関係者がチームとして関わる“チーム支援”を行いました。 チーム支援対応件数：73件

(カ) 候補者調整会議
後見人等候補者を調整する会議を開催し、本人にとってふさわしい後見人等候補のマッチングに努めました。

開催日・場所	協議事項等
令和4年 6月 2日(木) アミューあつぎ	(1) 市民後見人追加選任申立て案件について (2) 親族申立て追加選任申立て案件について (3) 前回会議案件の進捗状況報告について (4) 厚木市成年後見等利用支援事業実施要綱の改正について (5) 委員改選及び次回の会議日程について

開催日・場所	協議事項等
令和4年 7月14日(木) アミューあつぎ	(1) 市民後見人追加選任申立て案件について (2) 市長申立て案件について (日常生活自立支援事業からの移行) (3) 本人申立て案件について (日常生活自立支援事業からの移行) (4) 親族申立て案件について (5) 次回の会議日程について
令和4年 9月 8日(木) アミューあつぎ	(1) 親族申立て案件について (2) 親族申立て案件について (前回会議保留分) (3) 次回の会議日程について
令和5年 1月12日(木) オンライン開催	(1) 市民後見人追加選任申立て案件について (2) 次回の会議日程について
令和5年 3月 9日(木) アミューあつぎ	(1) 市民後見人登録者名簿の更新について (2) 法人後見の担い手の育成について (3) 次回及び令和5年度の会議日程について

イ 地域連携ネットワークにおける中核機関の運営

(7) 厚木市成年後見制度利用促進協議会の運営

権利擁護における地域連携ネットワークの中核機関として、協議会の事務局を担い、各種専門職団体や各関係機関、家庭裁判所との連携、地域課題についての情報交換、検討の場として協議会を開催しました。

開催日・場所	協議事項等
令和4年 5月25日(水) あつぎ市民交流プラザ	(1) 成年後見制度を必要とする方の早期発見・早期支援について (2) 被後見人等死亡時の後見人等の対応について (3) 令和3年度厚木市成年後見等利用支援事業の実施状況について (4) 令和3年度厚木市権利擁護支援センターの取組状況について (5) 警察に保護された身元不明者の支援について (6) 厚木市成年後見等利用支援事業実施要綱の改正について (7) 委員改選及び次回の会議日程について
令和4年10月12日(水) あつぎ市民交流プラザ	(1) 厚木市成年後見制度利用促進基本計画と次期計画について (2) 厚木市成年後見等利用支援事業の実施状況について (3) 厚木市権利擁護支援センターあゆさぼの取組状況について (4) 成年後見制度地域連携講演会について (5) 次回の会議日程について
令和5年 2月15日(水) あつぎ市民交流プラザ	(1) 厚木市成年後見等利用支援事業における監督人報酬について (2) 成年後見制度における地域連携ネットワークについて (3) 法人後見の担い手の育成について (4) 令和5年度協議会開催日程について

(イ) 「チーム支援」における専門職との連携

訪問による相談やチーム支援にアドバイザー（各種専門職）を派遣しました。

アドバイザーの派遣件数：3件

(ウ) 成年後見制度関係等相談対応延べ件数 2, 139件

(新規相談対応250件、継続相談対応1, 889件)

(単位：件)

区分	高齢者		障がい者			その他	合計
	一般	認知症	精神	知的	身体		
問合せ	21	31	16	11	12	7	98
成年後見制度（法定後見）の具体的な相談	63	168	37	17	15	18	318
申立について	19	77	19	19	3	0	137
任意後見制度・終活相談	81	6	4	0	1	13	105
後見人等からの相談	5	69	4	11	0	0	89
チーム支援会議等の開催・参加	18	34	9	5	6	1	73
連絡・調整	260	520	150	201	47	31	1,209
その他	24	24	20	13	15	14	110
合計	491	929	259	277	99	84	2,139

(エ) 専門職相談

実際に成年後見人等の業務を行っている専門職に制度の利用方法や後見人等の実務に関することなどを相談することができる専門職相談を実施しました。

(a) 弁護士による成年後見相談 相談件数 10件

(b) 司法書士による成年後見相談 相談件数 31件

ウ 成年後見制度の担い手の確保

(ア) 市民後見人活動マニュアルの改訂を行ったほか、市民後見人登録者（19人）の知識の習得及び資質向上を目的とした研修を実施しました。

開催日・場所	内容	参加者数
令和4年 7月 6日（水） アミューあつぎ	市民後見人の役割と意思決定支援	14人
令和4年11月30日（水） アミューあつぎ	死後事務と戸籍について	15人
令和5年 3月 1日（水） アミューあつぎ	市民後見人意見交換会 (1)市民後見人の養成状況について (2)市民後見人の活動について (3)市民後見人の活動等に関する意見交換	15人

※講師 社会福祉士 田中晃 氏、司法書士 篠原康史 氏

(イ) 市民後見人登録者の待機期間の活動について

市民後見人登録者が成年後見人等を受任するまでの待機期間の活動として、5人の市民後見人登録者が令和4年7月1日から本会の非常勤職員として日常生活自立支援事業の生活支援員業務を行いました。

(ウ) 市民後見人の選任について

横浜家庭裁判所小田原支部から市民後見人4人が新たに選任され、累計9人の市民後見人が後見活動を行いました。（本会と複数受任体制）

- (a) 令和4年8月25日付で後見人の選任審判が決定
- (b) 令和4年9月10日付で後見人の選任審判が決定
- (c) 令和4年11月22日付で補助人の選任審判が決定
- (d) 令和5年3月1日付で後見人の選任審判が決定

(エ) 法人後見活動の普及啓発

法人後見に関する相談を受け、法人後見活動の普及啓発を行いました。

成年後見人等の業務を適切に継続することができる社会福祉法人に対して、法人後見受任の取組を喚起し、担い手の拡大を目的とした「令和4年度法人後見ネットワーク研修会」を実施しました。

開催日・場所	内容	参加者数
令和4年12月5日（月） オンライン開催	法人後見を知る ～後見人の担い手を広げよう～	市内に施設を有する社会福祉法人10法人17人

※講師 特非) 総合福祉サポートセンターはだの 山中啓子 氏

エ 法人後見事業

本会が成年後見人等となり、法人後見を推進しました。延べ支援件数 507件

(ア) 横浜家庭裁判所小田原支部から成年後見人等として選任されました。 5件

後見	保佐	補助
2件	2件	1件

(イ) 受任件数(令和5年3月31日現在) 12件

後見	保佐	補助
6件	5件	1件

(ウ) 受任体制充実のための内部カンファレンスの開催

開催日・場所	協議事項等
令和4年 6月23日（木） 社協相談室	(1)受任可能な要件について (2)定期カンファレンスの開催について (3)マニュアルについて
令和4年 8月22日（月） 社協相談室	(1)法人後見・市民後見人の支援体制について
令和4年 9月28日（水） 社協相談室	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)法人後見事業の事務処理について (3)確認事項・情報共有について

開催日・場所	協議事項等
令和4年10月27日(木) 社協相談室	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)法人後見事業の事務処理について
令和4年11月24日(木) 社協相談室	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)法人後見事業の事務処理について (3)医療・終末期に関する同意書について
令和4年12月22日(木) 社協相談室	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)医療・終末期に関する同意書について (3)法人後見事業の事務処理について
令和5年1月23日(月) 社協相談室	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)成年後見人就任時について (3)市民後見人からの報告について(複数受任) (4)被後見人等からの預かり物について
令和5年2月22日(水) 社協相談室	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)成年後見人就任時について (3)法人後見事業の事務処理について (4)市民後見人が管理する金額の上限について
令和5年3月30日(木) 社協相談室	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)法人後見事業の事務処理について (3)市民後見人が管理する金額の上限について (4)裁判所への定期報告について (5)法人後見担当者連絡会の質疑内容について

オ 高齢者及び障がい者の虐待に関すること

(ア) 高齢者及び障がい者の虐待等、権利侵害に関する相談、通報を受付し、関係機関の連携を図りました。また、本会広報紙やホームページで市民等に広報、啓発を行いました。

虐待相談受付件数 316件

(単位：件)

区分	高齢者	障がい者	合計
虐待通報・届出受理	8	12	20
虐待相談・連絡調整	15	281	296
合計	23	293	316

(イ) ハイブリット形式での虐待防止講演会を開催し、虐待防止の啓発に努めました。

開催日・場所	内容	参加者数
令和5年1月27日(金) アミューあつぎ	本人に寄り添う支援とは ～「思い」や「考え」を カタチに～	集合参加 29人 オンライン参加 20人

※講師 和泉短期大学児童福祉学科教授

神奈川県意思決定支援専門アドバイザー 鈴木敏彦 氏

カ 福祉まるごと相談(福祉総合相談)

市民の日常生活における福祉に関する様々な心配事、悩み事、困り事など、あらゆる福祉問題に幅広く気軽に相談できる窓口として、「福祉まるごと相談(福祉総合相談)」を実施しました。

(フ) 相談対応延べ件数 173件 (新規相談対応68件、継続相談対応105件)

※ 複合的な課題を抱える世帯相談にも応じているため、1回の相談において対象者属性が複数となる場合があります。(単位:件)

対象者属性					初回/継続		相談方法				対応内容					
高齢者		障がい者			一般	その他	初回	継続	来所	電話	訪問	その他	相談援助	連絡調整	ケースカンファレンス	その他
認知症	一般	知的	精神	身体												
16	52	20	41	14	52	2	68	105	33	109	13	20	134	13	3	24

相談内容 (初回相談時)

(単位:件)

生活困窮	福祉サービス	家族関係	住宅関係	介護	保健・医療	離職・就労	子育て	年金	財産・相続	認知症関係	生きがい	リハビリ	福祉機器	立ち上げ支援	活動組織の	その他
9	11	5	3	7	2	3	1	1	3	1	1	0	2	1	18	

(イ) 事例検討会を1回開催しました。

(ウ) 毎月1回、内部情報交換会を開催しました。

キ 終活相談

高齢者が自分らしい人生の最期を迎えることができるよう適切な助言等を行うため、司法書士による終活相談を実施しました。

相談件数 36件

(2)日常生活自立支援事業【8,996,771円】

認知症や障がいにより日常生活上の判断能力が十分でない方に対し、福祉サービスの利用手続き、預貯金の出し入れなどの金銭管理や書類預かりを行い、日常生活の自立を支援しました。 延べ支援件数 2,381件

ア 新規契約件数

福祉サービス利用援助契約 8件

(高齢者4件、知的障がい者1件、精神障がい者1件、身体障がい者2件)

イ 終了件数

福祉サービス利用援助契約 16件

(高齢者10件、精神障がい者4件、身体障がい者2件)

ウ 利用契約件数(令和5年3月31日現在)

福祉サービス利用援助契約 34件

(高齢者5件、知的障がい者3件、精神障がい者21件、身体障がい者5件)

書類等預かりサービス利用契約 1件(精神障がい者1件)

エ 新規契約等についての内部カンファレンスの開催

開催日・場所	協議事項等
令和4年 4月11日(金) ボランティア作業室	(1)新規ケースについて(1件) (2)専門員の担当変更について (3)市民後見人育成事業マッチングについて
令和4年 5月16日(月) ボランティア作業室	(1)新規ケースについて(2件) (2)あゆさぼとの情報共有
令和4年 6月13日(月) ボランティア作業室	(1)新規ケースについて(1件) (2)支援計画の見直しについて(1件) (3)利用料・引受人が指定できない場合の対応について (4)市民後見人候補者の雇用について
令和4年 7月 4日(月) ボランティア作業室	(1)新規ケースについて(3件) (2)利用料の徴収について (3)あゆさぼとの情報共有
令和4年 8月 1日(月) ボランティア作業室	(1)新規ケースについて(1件) (2)利用料徴収・モニタリングについて (3)あゆさぼとの情報共有
令和4年 9月26日(月) ボランティア作業室	(1)支援計画の見直しについて(12件) (2)法人後見事業の体制について
令和4年10月31日(月) ボランティア作業室	(1)支援計画の見直しについて(1件) (2)日常生活自立支援事業待機状況と今後の案内について (3)通帳管理簿の取扱いについて
令和4年11月21日(月) ボランティア作業室	(1)支援計画の見直しについて(1件) (2)待機者について (3)専門員の担当変更について
令和4年12月23日(金) ボランティア研修室	(1)支援計画の見直しについて(2件) (2)待機者について (3)支援日当日に利用者の受取確認ができない場合について
令和5年 1月13日(金) ボランティア作業室	(1)待機者について (2)モニタリングの実施、支援計画見直しの対応について
令和5年 2月27日(月) 社協相談室	(1)待機者について (2)新規ケースについて(2件)
令和5年 3月13日(月) 社協相談室	(1)契約継続・支援計画の見直しについて(1件)
令和5年 3月27日(月) ボランティア作業室	(1)契約継続・支援計画の見直しについて(1件) (2)次年度の支援計画見直しについて(35件) (3)待機者について

3 居宅介護事業【13,847,179円】

障害者総合支援法における居宅介護事業所として障がい福祉サービスを提供しました。

ア 利用契約状況等（令和5年3月31日現在）

(ア) 利用契約者数（視覚障がい者） 37人

(イ) 従業者（ヘルパー） 24人

イ サービス提供実績

(ア) 居宅介護事業

（単位：人、件、時間）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
家事援助	利用者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	件数	8	8	8	7	6	8	8	7	7	6	6	87
	時間数	17.5	18	17.3	15.3	13.5	16.8	16.5	16	15.3	12.75	12.8	16.75

(イ) 同行援護事業

（単位：人、件、時間）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
同行援護	利用者数	24	25	25	27	25	25	22	26	26	26	25	23	299
	件数	126	127	146	110	114	118	120	135	123	111	112	115	1457
	時間数	532.5	552.5	634	493.5	488	544	534	618	567.5	503.5	479.5	529.5	6476.5

ウ 厚木市社協居宅介護事業所従業者研修

(ア) 厚木市社協居宅介護事業所の従業者向けに、業務のレベルアップと適切なサービス提供を図ることを目的とした研修会を開催しました。

開催日・場所	内容
令和4年 7月22日（金） 厚木市保健福祉センター	ケース記録の記入の仕方とコロナ禍における支援
令和5年 1月20日（金） 厚木市保健福祉センター	高齢の利用者に対する支援

※講師 NPO 法人神奈川県視覚障害者福祉協会、
神奈川県視覚障害者情報センター神奈川ライトハウス 福喜多恭子 氏

(イ) 意思決定を理解していくことが虐待への予防と防止へつながるとの視点から意思決定支援と虐待防止の関係について、厚木市高齢者・障がい者虐待防止講演会に参加し知識を深めました。

開催日・場所	内容
令和5年 1月27日（金） アミューあつぎ	厚木市高齢者・障がい者虐待防止講演会 「本人に寄り添う支援とは ～「思い」や「考え」をカタチに～」

※講師 和泉短期大学児童福祉学科教授
神奈川県意思決定支援専門アドバイザー 鈴木敏彦 氏

エ 虐待防止委員会

開催日 令和5年1月20日（金）

内容 虐待防止のための従業者研修について

4 喫茶・売店事業 【6,981,996円】

公益事業として、障がい者の雇用の場の確保と利用者の利便性向上のため、厚木市保健福祉センター内で、次の事業を実施しました。

ア 喫茶事業（ともしびショップの経営）

喫茶どんぐり（厚木市保健福祉センター1階）の設置経営

年間227日営業 延べ利用者：1,894人

イ 売店事業（ともしびショップの経営）

売店どんぐり（厚木市保健福祉センター1階）の設置経営

年間227日営業 延べ利用者：2,097人

ウ 厚木市保健福祉センター内における清涼飲料水の自動販売機の設置（5台）

5 自動販売機設置事業 【384,066円】

収益事業として、市内公共施設に清涼飲料水等の自動販売機を設置し、本会福祉事業の財源確保を図りました。 計46台

6 その他

不要入れ歯リサイクルボックスの設置

厚木市保健福祉センター1階 大型回収ボックス1台

厚木市老人福祉センター寿荘 小型回収ボックス1台